

すなお

令和4年5月号

おやのことば

九ツ こゝろをさだめ

るやうなら

十デ ところの

をさまりや

「みかぐらうた」ニ下り目より



【葛城分教会十代会長就任奉告祭執行】

今月二十九日、午前十時より葛城分教会十代会長就任奉告祭がつとめられます。瀬戸路からは代表者のみの参拝になりますが、参拝されない方々もその日その時を、どうかそれぞれの場所から祝意と今後の決意の思いを届けていただきたいと思います。よろしくお願いします。

〈葛城分教会十代会長お運び報告〉

先月二十六日、大教会長さんと共に葛城分教会二宮真介新会長さん、葛城前会長さん、瀬戸路会長、大洋輝会長さんの五人で教祖の前に運ばせていただき、真柱様より会長就任のお許しをいただきました。

当日は雨の予報で足元を心配しておりましたが、新会長さんは「晴れ男」という事を話しておられ、曇天に留めていただきました。これから楽しんでみなことと喜ばせていただきました。



会長

皆様お変わりないでしょうか、私はずいぶん変わってしまいました。

思い返せば五月四日に私は出直していたのでしょうか。

神殿二階の天井裏に上がり、梅雨前に雨漏りの点検と夏の対策をしておきたいと作業を始めました。親奥さんからも「まだコロナワクチンの後だから急がなくても」と言われながら「大した用事でないから」と言って押し切って天井裏に上がりました。今まで何度となくさまざまな物の上上がって来ましたので、軽く考えていました。

自分で足元が怪しいなあ、と思った瞬間に天井板を踏み抜いて下の部屋に落ちました。どこかに捕まる間もないです。一瞬でした。その後、腰に悶えるような激痛が走りもう動けません。救急車で県病院に運ばれ検査後、腰椎の圧迫骨折と聞かされました。

その後病室で「あー、親会長さんと同じだ」と悟りました。親会長さんが四十六歳の時に古い教会を解体しに行き、下敷きになった際、腰椎の圧迫骨折だと聞きました。

その時に出直していても不思議ではなかったと聞きました。

私は落ちた一瞬に死んだとは思いませんでした。でも、病室であちこち身体に傷をつけていたりするのを見て、落ちそうになつたらどこかに捕まれば良かったかも？なんて事も考えましたが、よく思案すれば、天井裏は普段の生活する場所ではありませんか、あちこちに釘が飛び出ていたりします。そんな所に手や首などを引っかけていたら、それこそ命はなかったでしょう。

私が出直していたら、私はもういません。いかなかったら、という想像は難しいかもしれませんが、そうした場所から、今回の節を受け止めて下さり、信仰を進めていただけたらと願います。

もちろん、私自身もこの節を生き節にすべくつとめさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



実践あるのみ

野間龍二

何事にも「旬」があり、全て神様からの与えなのでしょう。

今一度、情性で通ること無く会長さんのご身上を、生き節にさせていただきたいと、思案してみました。

最近、様々な事が当たり前になり、不足の入り口に立っていました。

お道の基本は、やはり【陽気ぐらし】目標は「感謝・慎み・助け合い」だと思います。

私も以前より、世界（目線）が拡がり、何と困っている人々が多い気がします。リハビリと一緒に、実行したらただけの答えを頂けます。

考える前に、実践あるのみです。



不思議な偶然

椿 信代

先日、朝起きる時に背中を変に捻ってしまい激痛で身体が動かせなくなりました。ぎっくり背中とでも言うのでしょうか。数年前も一度同じように首を痛めたことがあり、今回もあまりの痛さに寝たり起きたりすら辛い状態でした。

その日はたまたま仕事の休みを取っていたので湿布を貼って安静にしておこうと布団に戻ったところ、珍しく朝方に愛媛の妹からLINEが来ました。

「父さんが天井裏から落ちて救急車で運ばれた」と……。

突然のことに状況が把握できるまでかなり焦りました。父は腰椎圧迫骨折という大怪我を負いましたが、幸いにも意識があり最悪の事態は避けられたようでまずは安堵しました。そして家族から色々話を聞いていると父が怪我をした時間と、私の背中に痛みが走ったのがほぼ同じ時間だったことが分かったのです。

ふと、これは偶然ではないのかもしれないと思いました。もしかしたら親の怪我をわずかにでも軽くするために痛みが子供の私へ来たのかもしれない、本来ならもっと大変なことになっていたのかもしれない……そう思うと自分の背中の中の痛みも良いことのように思えてきました。

全ては神様のなさることでどんな意味があったのか本当のところは分かりません。ですが、今回の件で神様の思いを感じずにはいられませんでした。しっかりとこのお礼を伝え、父が1日でも早く回復するようにお願いさせていただこうと思います。

教会ニュース

4月大教会の祭典終了後、長年詰所勤務をつとめてくれています
山本健司さんが大教会准員に登用されました。

編集後記

”ふしから芽が出る”と聞かせて頂きます。節から新しい芽が出るように頑張りたいと思う今日この頃です。（編集者K）



すなお (立教185年5月号)

通 卷	No.742
発行所	天理教瀬戸路分教会
	794-0007 今治市近見町4-5-10
	☎ 0898-23-5004
	FAX 0898-23-5123
	発行日 2022.5.16
責任者	二宮英治